

特 記 仕 様 書

第 1 章 一般事項

1．適用

本仕様書は、志摩市が発注する和具配水池高圧引込設備更新工事（以下「本工事」）に適用する。

2．適用規格及び法規等

受注者は、本工事の施工にあたっては、関係法令、条例、規格及び設備基準によるほか、次に掲げる図書等の規定により行うこと。

- （１）公共建築工事標準仕様書 （平成 28 年度 建築、電気、機械設備工事編）
- （２）公共建築改修工事標準仕様書（平成 28 年度 建築、電気、機械設備工事編）
- （３）公共建築設備工事標準図 （平成 28 年度 電気、機械設備工事編）

3．瑕疵

発注者は、工事目的物に瑕疵があるときは、受注者に対して相当の期間を定めてその瑕疵の修補を請求し、又は修補に代え若しくは修補とともに損害の賠償を請求することができる。なお、設備工事等の場合、引き渡し又は部分引き渡しを受けた日から 1 年以内に行わなければならない。

ただし、その瑕疵が受注者の故意又は重大な過失により生じた場合には、当該請求を行うことのできる期間は 10 年とする。

瑕疵には、仕様を示す機器類単体の機能、性能及び設備のシステム設計に起因する支障を含み、機能性能、耐用及び既設設備との協調を含めた一切の責務を受注者が負うものとする。

4．工事目的物の引渡し

発注者の行う完成検査に合格し、その完成を認定した日をもって完了とする。

なお、原則として完成検査は工期内に行うものとする。

5．関係官公庁等への許可申請

関係諸官公庁、電力会社等に対する諸手続きは、すべて受注者が本工事内で行う。

6．疑義

本工事において疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議のうえ決定する。

第2章 施工場所及び工事概要

1. 施工場所

和具配水池 志摩市志摩町和具695番地

2. 工事概要

本工事は、和具配水池の高圧引込設備について以下の更新工事を行う。

- (1) 高圧引込用負荷開閉器(PAS)の更新
- (2) 高圧引込ケーブル等の取替
- (3) 埋設電線管の取替
- (4) 試験・試運転調整

3. 工事期間 契約日 から 平成30年12月28日

第3章 機器仕様

高圧引込用負荷開閉器(PAS)

- 1. 定格電圧 7.2KV
- 2. 定格電流 200A
- 3. 定格短絡時間 8KA
- 4. その他 過電流ロック機構付き
方向性 VT・LA 内蔵 耐塩
SOG 制御装置・制御線含む

第4章 試験及び電気技術者の立会い

本工事で施工した機器と既設設備の単体試験及び組み合わせ試験を行う。

高圧引込負荷開閉器及び高圧ケーブルの試験をする場合は、発注者が自家用電気工作物保安管理業務を委託している事業者の電気主任技術者とする。

受注者において電気主任技術者の立会いを求めることとし、試験用器具及び試験に必要な一切のものは受注者の負担とする。

試験の内容及び工程等の調整を行い監督職員の上承を得ること。

第5章 制約事項及び施工協調

本工事は、稼働中の水道施設において高圧引込設備等の更新を実施するものであり、工事に伴う停電は、配水運用に支障をきたさない最小限の時間とする。

受注者は、施工に先立ち既設設備の位置状態及びケーブル等の経路を事前に調査し、十分に把握したうえで施工準備を行い発注者の承諾の得たうえで施工すること。

第6章 現地工事に関する一般事項

1．運搬

機材の運搬は、慎重に行い、必要に応じて防湿、防錆等の対策を講じ、内容物に傷を与えないように取扱う。また、運搬中の路面あるいは第三者に損傷を与えた場合や屋内への搬入時に構造物等に損傷を与えた場合は、すべて受注者の責任において対処する。

2．施工管理

受注者は、施工計画書を遵守した工事施工にあたる。また、施工の詳細については、必要に応じて、施工要領書を提出する。

受注者は、設計図書に適合するように工事を施工するために、熟練した技術者及び作業員を派遣するとともに、自らの責任において、施工管理体制を確立する。

受注者は、電気保安技術者を選任し施工計画書に記載すると共に必要な資格又は同等の知識及び経験を証する資料を提出すること。本工事は、500kw未満の自家用電気工作物の高圧受電設備となりますので第一種電気工事士の資格が必要です。

受注者は、自らの責任と費用において、標準仕様書及び標準図により施工管理を行い、その記録及び関係書類を作成、保管し、監督職員等の要請があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出する。

ただし、標準仕様書及び標準図に定めのない場合又は施工条件等により、これによりがたい場合には、監督職員と協議のうえ、施工管理を行う。

受注者は、発注者の設備を操作するにあたっては、発注者の許可を得てから操作する。

3．現場管理

施工場所において他工事と近接して作業を行う場合は、受注者間で工程、施工ヤード、機材搬入及び安全管理等の調整を行い、互いに協力して円滑な工事進捗を図ること。

受注者は、原則として平日の午前8時30分から午後5時まで作業とする。なお、やむをえず時間外に作業が必要な場合は、あらかじめ監督職員と協議すること。

受注者は、工事受注後から引き渡しまでの期間、自ら施工範囲における構造物並びに設備の適切な管理を行うこと。

4．安全管理

受注者は、高所作業又は高、低圧充電部に近接して工事を行う場合は、あらかじめ保安上の必要な処置、緊急時の応急処置等について、常に監督職員と協議を密にし、必ず安全具、保護具等を着用して作業する。

受注者は、作業に先立ち、次項について監督職員と協議し、必要により標示等の処置を行う。

- (1) 開閉器類の操作禁止標示
- (2) 作業区域標示と立入り禁止処置等
- (3) 機器の取扱注意標識
- (4) その他必要な処置

5 . 養生・補修塗装等

受注者は、工事实施にあたり、既設設備に影響を与えないよう十分に養生する。

施工完了後は、速やかに養生を撤去し、後片付け、清掃を行う。

据付時等に損傷した箇所は、補修塗装する。

機器の据付に伴いピット内または台座等を加工した時、また、機器を撤去した跡は、できる限り周囲の状況になじむように補修する。

6 . 配線

ケーブル類は、系統ごとに結束し、他系統のケーブルと容易に識別出来るようにケーブル番号、種類、発着及び施工者等を明記した札等を取付けること。

札等は、ラミネート又プレート等を用い長期間の使用において文字を判別できる状態を保持できるものとする。

電源用・制御用及び信号用ケーブルが混在する既設電線管路においては、適正な離隔をとること。ケーブル撤去後、既設電機品等のケーブル引込口はキャップ等を用いて塞ぐこと。電線管等の接続は、接続用コネクタ等を使用して接続する。

7 . 現場発生品

既設機器等の撤去、部品取替等に伴い発生する建設副産物（機器を請負者の工場等に搬出し改良、補修等を行う場合で、部品取替等により発生する有価物及び廃棄物を含む。以下「発生品」という。）は、品名、形状及び数量を確認し、「発生材報告書」を作成して監督職員に提出する。

8 . 部分使用

発注者は、工事の一部が完成した場合に、その部分の検査（監督職員による品質及び出来形等の検査又は段階確認等の機能試験）を行い、合格と認めたときは、その全部又は一部を受注者の書面による同意を得て使用することができる。

ただし、使用部分の維持管理は、発注者及び受注者が協力して行う。風水害にかかる対策、その他施工計画書等に記載されている防護措置、養生は受注者の責により行う。この部分使用開始から完成検査後の引渡しまでの間に合格部分に生じた損害の補修費用は、原則として受注者が負担するが、発注者の責による損害がある場合は、協議のうえで責任範囲を決定し、発注者も負担する。

9. その他

本工事の施工及び試験に必要な機材、消耗品、電気、用水等及びこれに必要な仮設資材は、受注者が負担、準備すること。

受注者は、本工事範囲外であっても、既設設備の異常を発見した場合は、速やかに監督職員に報告する。

第7章 その他の事項

受注者は、本工事にかかる工事目的物、機器及び工事材料等のうち、第3章に記載の機器については建物工事保険若しくは組立保険に加入すること。

完成図書は、パイプファイルにて製本することとし2部提出するものとする。